
逃げろ逃げろ！

本間陣太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃げろ逃げろー！

【Zコード】

Z4518Z

【作者名】

本間陣太

【あらすじ】

これはオニゾンビから1年間逃げる物語である。
残酷なシーンがあります

始まりの日

「ゼエゼエ・・・」

今、俺は逃げている

なぜ逃げているのを説明するのは長くなるが一応話しておこう

それは今から1時間前のことだ

俺はその時4：00に起きていた

それで窓を開けて下をみると何人か男の人達がいた

「誰だろ・・・?」

俺は相手が俺を呼んでいるような気がしたので行つてみた

俺：「あの～・・・誰ですかあなた達？」

？？？：「私はピリオドと言います！」

あなたにはこれから仲間を2人連れてオーフから
1年間逃げてもらいます～」

俺：「は？」

何言ってんだるこいつら・・・
ふざけてんのか？

ピリオド：「まあいいから早く仲間を2人集めてきてください

俺：「なんで俺がオーフをしなきゃいけないんだよー。」

ピリオド：「あなたは選ばれたんです！」

神に！

まあ詳しくは教えませんがあと10分以内に仲間を
2人集めてくださいね～」

俺：「わけわからんねえよ！
ちえつ！

まあ集めてから聞くか・・・」

そいつ言って俺は仲間を集めに行つた

～5分後～

俺：「おいー集めてきたぞピリオドー。」

俺が集めた仲間は
まず美香っていう奴だ
なぜならこいつとは幼馴染で
足が速いからだ
二人目は龍太だ
通称デブと呼んでる
こいつはデブだが
隠れるところはかなり知つてゐる

美香：「それで！オーノッソ「するんでしょ！
さつたと始めよつよ」

デブ：「最近軍人系の遊びにはまつてるから
早くその力を發揮させたいなあ～」

ピリオドー：「では、説明と武器などはこの箱の中になりますので

がんばってくださいね~~~~~

そつまつヒペリオドは消えた

俺：「おいおい・・・」

デブ：「まあとりあえず紙があつたから
見ようよ」

美香：「そうだね」

紙：『このオーゴッコは全150人の選手が

1年間逃げて何人生き残れるかの闘いです

終わる方法は1年間逃げ切るか
オーン^{ゾンビ}をすべて殺すかの二つです

最後まで生き残った方はこれを開催した
グループを殺すことが出来ます

自分の仲間は死んでもかまいません

武器は銃です。弾薬とかは

どこかに落ちているので頑張つてください

4：30から始まるので皆さん頑張つてください
あと全員のゾンビが死んだらチャイムがなつて
グループの居場所を教えますんで』

俺：「まじかよ・・・」

美香：「・・・」

デブ：「まじですか〜！」

三人は驚きを隠せなかつた

なぜならその次の付けたしの部分を見たからだ

付け足し：『逃げる範囲は東京の中だけですそこから外にでると死にますんで

あと東京内にいるゾンビは3億5千万体ですので』

俺：「3億・・・5千万体・・・」

美香：「もう始まるんだからみんな
武器持つて行くわよ」

デブと俺：「OK！」

ここまでが今説明した内容だ

始まりの日（後書き）

学生なので投稿が不定期になります

あ！俺の名前を教えてなかつたから一応教えておこう

俺の名前は坂本隆也だ。

一応名前が分からなかつた人には残念賞だな

俺：「おい！一人とも、来たぞ！」

デブ：「任せろって！」

そつ言つてデブはゾンビの頭を上手く狙い8体ほど殺した
美香と俺は頭を的確にねらえないので
打ちまくつて2体殺した

俺：「はあ・・・

頭狙うのは難しいな

お前すぐいよ」

デブ：「それでもないよ

なれたら楽勝だつて！」

美香：「あんた、すぐすき・・・」

俺と美香は感心していた
いろいろな意味で・・・

俺：「おい美香！あと何匹なんだ？」

美香：「こまだに止まっている様子はないわ

止まつたら教えるわ

俺：「わかつた」

デブ：「まあとにかくあの家の上にいよう
あそこなら5時間くらいは耐えるよ」

俺と美香：「わかつた！」

そう言って上った後3人グループがいた

俺：「あいつら何焦ってるんだ？」

デブ：「たぶん弾薬が無くなつたんだと想つよ」

美香：「どうする？助ける？」

俺：「いや、助けない」

助けて後から弾薬とか盗られたりしたら
どうしようもないからな」

デブ：「それもやつだね」

そう言つて俺たちはあの3人を高い所から見守つていた
すると・・・

？？？？？「た・・・助けてくれ～！～！」

？？？？？「死にたくねえよ～！～！」

？？？？？「・・・・・・・・・・・・」

そう言つてその3人はゾンビに骨まで喰われていつた
あたりには約1リットルくらい血が出ていた

俺：「これでいいんだ・・・」

美香：「そうね・・・・・・」

デブ：「これが僕たちでできる」とだね
それよりも下にゾンビいるから殺すよ？」

俺と美香：「OK！」

そういうつて俺たちは下にいるゾンビを20体くらい殺した

美香：「あー」

俺：「どうしたんだ美香？」

美香：「時計が止まってるー。」

デブ：「まじか！」

俺たちは残り人数と残り時間と残りのゾンビの数をみた

みんな：「ウソだろ・・・」

e ルン（後書き）

話が面白くなくてすみませんへへ；
でも頑張りますのでこれからもよろしくお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4518z/>

逃げろ逃げろ！

2011年12月16日20時51分発行